

わくや



涌谷町の新しい 幕開けを祝う

【12月会議】

- 議員発議 2
- 12月補正予算 3
- 請願 4
- 町政をただす〈一般質問〉 5
- 委員会報告 12
- 行政視察レポート 14
- 令和8年からの委員会構成 15

12月会議

令和7年涌谷町議会定例会12月会議は12月10(水)、11日(木)、12日(金)に開催。一般会計補正予算など議案18件を原案どおり可決した。請願2件のうち1件は不採択、1件は継続審査となり、陳情1件は配布となった。(詳細は4ページへ)一般質問では6人の議員が登壇し、町政をたじた。

原案可決	条例改正など	8件
	補正予算	8件
	議員発議	2件

議員発議*

○涌谷町議会議員政治倫理条例

涌谷町議会議員の政治倫理に関する基本となる事項を定めることにより、議員は政治倫理の向上に努め、議会が町民から信頼を得て、公正で開かれた民主的な町政の健全な発展に寄与することを目的として制定。

賛成全員で可決

○涌谷町議会基本条例の一部を改正する条例

議員の政治倫理の向上や町民の議員活動に対する信頼を高めるため、政治倫理に関して別に定めることを規定する一部改正。

賛成全員で可決

討論

稲葉 定 議員 **賛成**

この条例案作成の議会活性化調査特別委員会小委員会に対し心より労いの意を表す。

我々議員の行動規範を示して活動を縛るというより、それを守ることによって、活動を自由に行うことにつながるかと評価する。

よって賛成する。

※議員発議とは

議会において、議員が議案(条例案など)を議長に提出すること。



本年もよろしくお願ひ申し上げます

厳しい寒さが続いており、町民の皆さまには、一層ご清祥のこととお喜びを申し上げます。

本年は午年(うま)ですが、「馬」は、力強く前へ進む象徴とされています。また、仲間と息を合わせて走る存在でもあります。涌谷町議会も、この午年

にあやかり、町民の皆さまと歩調を合わせ、着実に前進していきたいと考えております。

さて、現在、少子高齢化や地域活力の維持など、町を取り巻く課題は多様化しております。社会情勢の多様化が進む中でも、町民の皆さまの声を的確に捉え、柔軟に対応できる議会を

目指してまいります。結びに、町民の皆さまにとりまして、この1年が素晴らしい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。

涌谷町議会議長 **大泉 治**



議員発議

ふるさと納税好調

ふるさと納税の実績

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

51,597,500円

⇒令和7年12月現在（令和7年4月～令和7年12月）

131,884,500円

〈一般会計補正予算（第6号）の主な内容〉

○これまでの予算額に1億8922万円を増額

（歳出）

- ・総務費（ふるさと納税の積立金など）…………… 3604万円
- ・民生費（老人保健施設事業会計への負担金など）…………… 1億1751万円
- ・衛生費（病院事業会計への負担金など）…………… 1823万円
- ・教育費（給食の物価高騰対策費など）…………… 884万円
- ・その他…………… 860万円

*万円未満切り捨て

一般会計 補正予算

12月補正予算

債務負担行為

町民バスの見直しは

地域公共交通業務の見直しとは。

笠岳山線と成沢線の廃止を予定しており、代替手段としてデマンド交通を検討している。

現在の通学用バスポート専用バスをスクールバスでカバーするなども含め、債務負担行為の検討が必要では。

検討したい。

歳出

総務管理費

稀世に続く次の一杯へ

町の特産品である日本酒「稀世」に

続く新たな日本酒のロゴデザインについて、ブランド力を高め、多くの方に手に取ってもらえるような商品開発へとつなげるべきではないか。

稀世に代わる新しいお酒も、多くの人に好んでもらえるよう

にしっかりとPRしていく。

好調なふるさと納税

事務委託料を減額補正しないで、もう少し歳入の上積みを考えてほうが良かったのでは。

あまり大きな予想にすると歳入欠損につながる恐れがあり現実的な計上をした。

補助金の増額は

社会福祉費

障害者の方たちが自らの障害に合わせ、自動車を改造して社会に参画していくことは大変良いことだと思いが、どのような補助金か。また、改造には多額の費用を要することから、補助率を増額しないのか。

障害者自動車改造助成事業補助金については個人の障害に合わせた補助金となっている。上限額は10万円で、補助対象経費に3分の2を乗じた額以内だ。見直しは考えていないが、障害のある方の特性に合わ

せた補助を今後検討していきたい。

保健衛生費

すき込みの進捗は

汚染稲わら・牧草集約テント建設工事で減額となっているが、すき込みについての進捗は。

牧草のすき込みについては、今年度中に終了する。

農業費

熊対策の即応強化を

近年にない熊被害拡大により熊スプレーが品薄で、類似品も出回っている。また、安全な取扱いのため講習実施が必要ではないか。併せて、町立病院や観光施設などにも設置を進め、安全対策を強化すべきではないか。

安全に管理するためにも事前の使用方法の講習は必要だと考える。設置箇所についても検討していく。

住宅費

強制執行の委託費は

問 公営住宅の強制執行退去業務委託料80万円が計上されているがどういふものか。

答 長期家賃を滞納している世帯に訴訟を起こしたが、立ち退きに応じないため、今回、強制執行に係る弁護士費用の補正予算を計上した。

浦谷町国民健康 病院事業会計補 正予算(第2号)

病院経費の削減加速を

問 光熱水費の高騰を踏まえ、複合温泉施設が実践する経費削減策を参考に、病院事業会計でも早急に削減努力を進めるべきではないか。限られた予算と一般会計からの繰出しに依存する以上、効率化は急務である。

答 より効率的な価格形態を分析、検証しながら経費節減に取り組んでいく。

12月補正予算・請願陳情

請願・陳情

○令和7年請願第1号

政府がコメ需給に責任を持ち、外米輸入の拡大をやめることを求める請願書

【請願者】

宮城県農民運動連合会
代表 小畑 稔

【審査結果】

不採択

問

委員会意見に需給が緩やかになったとあるが、政府は備蓄米を買い戻さなければならぬし、トランプ関税での交渉でミニマムアクセス米もあぶなかった。現状は非常に不安定な政府判断となっているが、認識は。

総務産業建設常任委員長

審査時点では作付面積が拡大し、収穫量の増大が見込め、政府がミニマムアクセスは守ると発表している。以上のことから、この結果となった。

討論

稲葉 定 議員



需給緩和も備蓄米を政府が買い戻す時点でまたタイトになる可能性を秘めている。またトランプ関税の交渉の中ではミニマムアクセスの決めごとなど、あまり重要視されていない感じだった。

浦谷町は水田農業のことを無視して成り立たない。農家の現状を考えればこの請願を通じて意見書につながるものが、状況の変化があっても大事であり、農家に寄り添った姿勢だと思う。政府や農水省に確固とした農政を示してもらうためにも賛成する。



12月会議採決状況

○…賛成 ×…反対 議長(大泉治)は可否同数にならない限り採決に加わりません。

件名	一條 裕太郎	二上 光子	黒澤 朗	佐々木 敏雄	佐々木 みさ子	稲葉 定	只野 順	後藤 洋一	伊藤 雅一	杉浦 謙一	門田 善則	竹中 弘光	大泉 治	議決結果 (全て可決)
政府が米需給に責任を持ち、外米輸入の拡大をやめることを求める請願書について	×	×	×	×	×	○	×	×	欠席	○	×	×	—	賛成・反対 (2:9)

訂正とお詫び

議会だよりわくやNo.223 9月会議号の2ページにおいて、令和6年度決算額に誤りがありましたので、訂正するとともにお詫びいたします。
 〈誤〉89億4046万円
 〈正〉86億3653万円

○令和7年請願第3号

中学校体育館への空調設備の設置及び断熱性の確保に関する請願書

【請願者】

入生田 栄弘

【審査結果】

審査期限延長

○令和7年陳情第10号

臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書の提出の陳情

【請願者】

一般社団法人中国における臓器移植を考える会

代表 丸山 治章

【審査結果】

配布

12月会議では、12月10日に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が要約し、広報分科会委員が調製したものです。町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



ズバリ

町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

いちじょうゆう たろう

一條 裕太郎 議員 (6 ページ)

- ① 次世代へ向けた涌谷町の農業改革について

ささきとしお

佐々木敏雄 議員 (7 ページ)

- ① 町史編さんと改訂及びデジタル化の考えについて
- ② さくらんぼこども園を認定こども園とする考えについて
- ③ 鳥獣対策について町の体制について

にかみ みつこ

二上 光子 議員 (8 ページ)

- ① 包摂的な社会を目指した環境整備について
- ② 防災、減災への取組について

いなば さだむ

稲葉 定 議員 (9 ページ)

- ① 水田農業の将来展望を示せるか
- ② 獣害の防止は万全か

すぎうら けんいち

杉浦 謙一 議員 (10 ページ)

- ① 生活に密着した道路整備でまちづくりを
- ② 涌谷町の子育て支援策は何か

ささき みさこ

佐々木みさ子 議員 (11 ページ)

- ① 町花である「さくら」についての考えは

問 圃場整備の進捗状況を伺う

答 工期が2～3年延長する様相である



いちじょう たらう
一條 裕太郎
議員



一般質問

問

圃場整備は次世代へ農業を引き継ぐための重要な基盤である。未整備地区では、過去に話し合いの場が設けられたにもかかわらず、計画が頓挫した経緯もある。町はこの現状をどう受け止め、今後どのように向き合っていくのか。

産業振興課長

未整備地区におい

ては、以前に地権者や耕作者による話し合いが行われたが、合意形成に至らず事業化には結びつかなかった。圃場整備は、地元の理解と合意が前提となる事業であり、町としては地権者や耕作者から相談や要望があった場合には、前向きに対応していきたいと考えている。

問

湧谷のセリ生産拡大と高付加価値化

答

生産にかかる安定策を講じて支援していきたい

問

湧谷町の誇るセリは、地域の歴史と文化を受け継ぐ重要な農産物である。しかし、生産者の高齢化や担い手不足により、産地としての将来が危ぶまれている。町はこの現状をどのように認識し、どのような展望を描いているのか。

産業振興課長

現在、町内でセリ

の生産を担っている農家は4軒であり、担い手不足は否めない状況である。セリは高付加価値作物としての位置付けを改めて確立していく必要があると認識している。今後は、生産技術の継承や指導体制についても検討していく必要がある。

これも質問しました

問 耕作放棄地や野生動物の害獣被害について

答 管理するためのシステムを構築し、被害防止にも努めていく



付加価値を高めたい湧谷のセリ

佐々木敏雄
議員



問 涌谷町史編さんとデジタル化は

答 時期を見極めたい

問 涌谷町史発行から約60年経過している。史実が忘れ去られる懸念もあり、町史編さんと改訂をする考えはあるか。

町長 現在、新たな編さんや監修の必要性については、編さんの時期は近づいていると認識しているが、現在のところ考えていない。町史完成以降の歴史を加え、改訂する時期については考えたい。

問 これからの時代、町史も電子書籍版にすべきではないか。

町長 デジタル化により手軽に歴史が知ることができ、使い勝手も良いのは理解する。しかし、デジタル化するための費用や現在の町史の販売価格などの検討も必要であり、時期を見極めたい。



町史編さん準備時期では

一般質問

これも質問しました

問 *熊等の出没の体制は

答 基本的には追い払いが基本

※熊等とは (ツキノワグマ、イノシシ)

問 認定こども園に
なぜしないのか

答 役割は果たされている

問 さくらんぼこども園が認定こども園でないとしたら、全国的にも認定こども園への移行が多くなっていないか、なぜ移行しないのか。保護者の手続き負担も軽くなるのではないか。

子育て支援課長 手続き負担はどちらも変わりないと考えている。

町長

幼稚園・保育所の機能が、教育と保育を一体的に提供している。制度上の認定を受けなくとも、役割は果たされている。



幼保一元化施設のさくらんぼこども園



問 「包摂的な社会」への環境整備を

答 企業等へ制度を示し拡充努力する

一般質問

問

障がいやひきこもり、難病等働きづらさを抱える就労困難者へ一般就労と福祉就労の間にある第三の職場となる「包摂的就労」整備拡充への取組を問う。

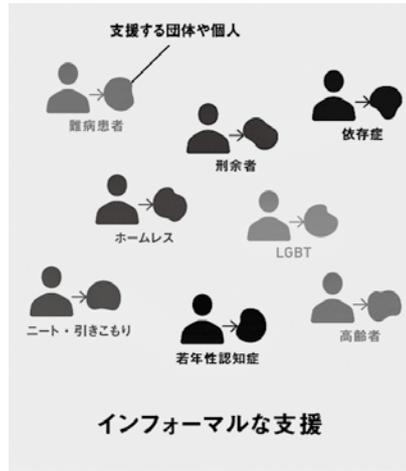
町長

重層的支援体制整備事業を展開し、社会福祉法人や専門職による就労支援を実施。今後は地域企業との

福祉課長

わくわく社会体験事業を行っており、16歳以上の未就労の方など対象となる事業を展開。今後地域事業所との協力体制を整備し、包摂的就労につなげていく。

協力を視野に「包摂的就労」の拡充へ努力する。



※包摂的とは
多様性を尊重して社会のあらゆるメンバーが参加できるようにすること。

問

防災・減災の体制整備について

答

保護シート配備は検討、膨張品は要相談

問

命を救うAEDの設置拡大と女性も利用できる保護シートの配備、24時間利用可能な場所としてコンビニへの設置を問う。また、火災事故の原因となるリチウムイオン電池の回収支援と周知徹底について問う。

町長

AED設置は22か所あり、夜間は役場と医療センターに配置。万が一に備え職員等へ講習会を継続実施が肝要と考える。

総務課長

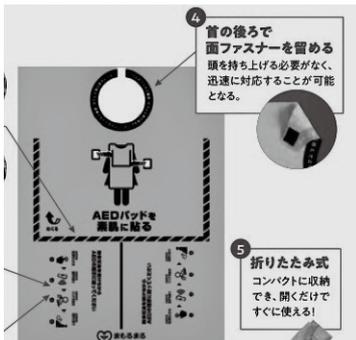
保護シートは、配備を検討。コンビニへの設置は、慎重に検討する。

町長

最近、リチウムイオン電池の発

町民生活課長

分別収集ポスターや、ホームページ等で周知徹底している。



AEDの保護シート

稲葉



定議員



問 水田農業の未来は

答 収益の確保を目指す

問

高騰した米価が今後どうなるのか。

識者と呼ばれるテレビのコメンテーターは、大規模化で生産費を下げれば安価なコメが流通すると言ったが、これをそのまま涌谷町において実現できるのか。町内でも中山間地と言われる地区で耕作している農業者の切り捨てになりはしないか。

また、米価が高値安定になれば現在の交付金水準では、転作に取り組む農家が転作に転換することも考えられる。抜本的な再構築が迫られていると思うがその認識を問う。

町長

令和7年産米は作付面積が増加し、作柄も良好だったので値下がりが見込める。

今後町内の水田利用は条件もあるが「中山間地域等直接支払い制度」を利用し、平場においては100ヘクタール規模の経営体を育てる。

水田転作については、令和9年度から大きく見

一般質問

直すことになっており、農地ではなく、作物に対して助成するかたちになる。

問

販売価格が不安定で中期的な目標も示されなければ、耕作者が栽培意欲も持てない。国はしっかりした農政を築き消費者とともに安心できる未来を構築してほしい。

町長

稲作においても、転作に取り組んだ農業者も収益の確保ができるように国の政策に要望していく。

農業者と一緒に若者が就農する職業にする。



おいしいごはんが食べたい

問

獣害対策は万全か

答

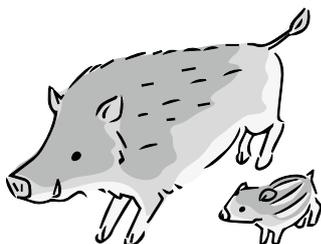
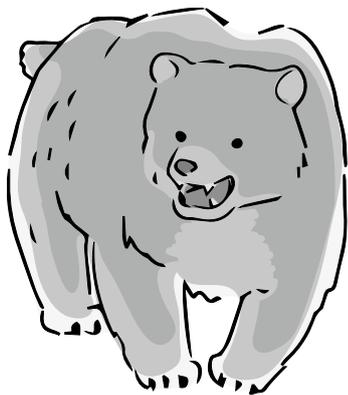
箱わなでの対応も

問

一般に言われる里山整備と実のなる樹木の伐採を誘導する方法はあるか。人的被害は絶対防がなければならぬ。

産業振興課長

樹木の伐採は県事業にあつたが、今回町ではそれには参加しなかった。箱わなを使った捕獲が成果を上げているので、このままの体制を維持する。



すぎうら
杉浦

けんいち
謙一
議員



問 生活に関連した水路管理で
まちづくりを

答 どこまで行政サービスが可能か
検討していきたい

一般質問

問 土地改良区で管理
していたものが、
管理されなくなった。特
に住宅地に接した水路で
の浚渫や除草の考えは。

町長 水路すべてを行
政で行うことは、
多大な財政負担を伴う。
引き続き、地域の皆様にご協力をいただきたい。
しかし、確実に地域力が
落ちてきている現状を踏まえ、
どこまで行政サービスが
可能か検討する。

問 石巻・酒田を結ぶ
高規格道路の整備
について進捗状況は。

町長 石巻河南道路の
約7・8キロ
メートル区間は、国にお
いて道路改良の予算措置
がされ、一部着手されて
いる。引き続き、関係団
体と協力し地道に要望活
動の回数を重ねていく。



高規格道路の整備実現に向けて

問 涌谷町の子育て支援の考
え方は

答 当町ならではの支援で、
まちづくりを進めていく

問 0歳から2歳まで
の未満児の保育料
について、無償化した場
合の金額は。

町長 民間施設3園と
町立こども園で

約1500万円。子育て
関連予算の2%に相当す
る。

問 保育所に入所した
子どもたちの紙お
むつの処理について無償

にすべきと思うが費用
は。

町長 今年度は約23万
円程度。全体の
中で小さな割合である。

問 少子化の時代とな
り、涌谷町の子育
て支援策は。

町長 町内各保育施設
での延長保育、
児童クラブの開所時間拡
充など次年度に向け、準
備を進めている。当町な
らではのきめ細かな支援
を積み重ね、子育て世代
が安心して暮らせるまち
づくりを進めていく。

佐々木みさ子
議員



問 桜は町のシンボル 町花である「さくら」についての考えは

答 桜の木の在り方を考えていく

問 どのような考えを持って町花とし、今後の活用を考えているのか。

町長 地域の生活意識を彩り、人々の心のよりどころとなるよう町花として制定。まちのシンボルとして、町の魅力の向上や地域づくりの一環として活用していく。

問 桜の植樹を今後も行うのか。さくらの本数の目標設定はあるのか。

町長 現時点で新たに植樹を行う予定はない。城山公園の桜については、その桜の状態に応じて、植え替えを行う予定のものもある。

問 現在維持管理は行われているか。

町長 毎年、地域を変えながら剪定作業や害虫駆除について桜の状況を注視している。

一般質問



桜回廊

問 関係各所と協議しながら維持管理を行っていきたくい。
今後、町花「さくら」に対してどう

町長 毎年桜まつり期間中に城山公園や桜回廊をはじめ、町内

各所で町内外の人々の目を楽しませ観光資源としている。地域の実情を把握しながら適切に維持管理していく。

取り組んでいくのか。

常任委員会所管事務調査報告

各常任委員会では、令和6年からの2年間で調査した結果を、12月会議で報告しました。

総務産業建設 常任委員会

調査結果及び意見

○農業の担い手確保について

成沢地区及び小塚地区における新規就農者と継続就農者の現地踏査を行い、園芸農家と畜産農家の次世代を担う青年世代の方々の現状の内容と今後の課題について調査を行った。

成沢地区は、使われなくなった農地を活用して行っているため、土壌づくりやハウスなどに設備投資が必要であり、カモシカや熊などの獣害対策においても意欲的な担い手に対して、できる限り支援体制を整えることが重要と思われる。

小塚地区は、親子継承の農家という理想的な形

であり、近隣の次世代畜産農家とのネットワークを活用し、持続的な発展拡大と経営力の向上へ支援体制を整えていくことが重要と思われる。

○中心市街地の整備について

商店街の活性化については、以前から議会でも町の課題として取り上げてきているが、今回、ようやく動き出したかという感はある。

策定に当たった町の町的基本的な考えとしては、新陳代謝ができる、循環を作るような街、チャレンジする方が入ってくる街を目指すということなので、今後策定されるビジョンに大いに期待するものである。

○「再エネ×ふるさと納税」プロジェクトについて

ふるさと納税の手段と

しては、新たな取組であり、自主財源を確保しようとする執行部の努力が見られる。

ただし、太陽光発電設備については、近年、様々なトラブルが発生しているとの報道もあることから、発電事業者等との連携を図るとともに、トランプル等の未然防止対策に意を用いて進めていただきたい。



就農者の現地調査

まとめ

総務産業建設常任委員会としては、2年間の大テーマに掲げた「人口減少に歯止めをかける」を実現するために、町の現状と課題を踏まえるとともに現地視察、行政視察等の調査を実施した。

現在の日本は、他の自治体も同様で、人口減少、担い手不足については、共通の課題である。本町においても、基幹産業である農業については後継者不足、商店街については空き店舗による空洞化等、多くの課題がある。

今後については、委員会として本町の特徴や状況を十分に把握し更に調査し、最も適した取組を執行部とともに模索していくことが必要と考える。

教育 厚生 常任委員会

調査結果及び意見

○教育環境の向上について

令和8年度から、町内の幼稚園統合が実施される。その背景には、少子化の進行に伴う園児数の減少や預かり保育の充実など、保育環境の変化が挙げられる。統合により、教育資源の有効活用と教育内容の充実が期待される。今後は、幼児教育の

一体的な体制整備に加え、地域の実情を踏まえた小中学校の統廃合についても検討を進めていく必要がある。子どもたちにとってより良い学びの環境を確保するためには、教育施設の適正配置と教育の質の向上を一体的に進めることが求められる。

○町民が健康に暮らすために

町民が心身ともに健康で安心して暮らせるまちづくりのためには、日常的な健康づくりの推進と介護予防の取組が重要である。運動や食生活の改善、地域での交流活動などを通じて、健康寿命の延伸を図ることが求められる。

○企業会計の健全化を指して

医療・福祉の体制強化も欠かせない、町立病院、老人保健施設、訪問看護ステーションがそれぞれの機能を十分に発揮し、地域の中で連携を深めることが必要である。そのためにも、経営の健全化と効率的な運営を進め、

持続的な医療・介護体制の確立を目指すことが重要である。

水道事業については有収率の向上や老朽化する管路の修繕など、解決すべき課題が多く存在している。これらの課題に計画的かつ効率的に取り組むことで、安定した経営基盤の確立と安全・安心な水の供給を維持することが求められる。

下水道事業では、接続率の向上、水洗化率の向上や、老朽化した管路をはじめ施設の計画的・効率的に事業への取組が重要となる。



子育て施設の視察

まとめ

将来を見据え、限られた財源を有効に活用しながら、持続可能な事業運営を進めていくことが必要である。次世代を担う子どもたちが希望を持って暮らせる地域の実現に向け、今後も健全な事業の確立を注視していきたい。

広報広聴 常任委員会

町民の方々へ、議会で議論された内容や活動状況の周知と説明責任のため、「議会だよりわくや」を(第216号から第223号まで)8回発行した。

より見やすく、読まれる広報誌にするため、見出し、小見出しをより工夫すると共に、広報誌編集の研鑽のため、議会広報研修会や研究会に参加した。

また、議会活動や町政に対する意見・要望・提言をいただくために、議

委員会報告

会懇談会を4回開催した。具体的なテーマを設け、意見の集約化に努めた。

多くの町民を対象とするため、町内12カ所の会場と、行政区長会、民生委員児童委員協議会との懇談会をそれぞれ開催し、多くの意見、要望、提言をいただいた。それぞれの意見、要望、提言に対し、執行部と調整を図り報告書を作成し、配布及び公表に努めた。

議員研修も実施し、議員として理解しておくべき議会運営について、問答形式でより現実味のある研修を行った。

これらの事業を実施したことにより、町民との信頼関係と情報の共有に効果があつたものと評価する。議員研修の成果については、今後の議員活動に反映されるよう生かしていきたい。

また、主権者である町民の切実な意見、要望、提言などを政策提案などにつなげるべく、今後も努力の継続が必要と認識する。

涌谷町民生委員児童委員協議会と涌谷町議会との懇談会

11月17日(月)に、民生委員と児童委員の皆さんと懇談会を開催しました。「これからの地域づくりについて」をテーマとして、皆さんから地域の現状をお伺いすることができました。誠にありがとうございました。

今回の懇談会での意見を集約し、今後の政策提言に生かしてまいります。



懇談会の様子

表紙について

新年の幕開けを告げる初日の出と、涌谷町の象徴・涌谷城を背景に広がる新しい1年の到来。干支である「午」の力強いイラストを配置。新年祝賀会や二十歳を祝う会、町指定文化財である佐々木家住宅の伊達式正月飾り、天平ろまん館の湯けむり砂金取りなど、希望に満ちた町の新年の情景を表現しました。



総務産業建設常任委員会 行政視察レポート

人口増加が顕著である自治体の人口増加施策等について調査をし、執行部への提言の参考とするため、令和7年9月25日から26日の2日間にわたり行政視察を実施した。

視察報告

○埼玉県比企郡滑川町

合計特殊出生率では全国平均を大きく上回り、県内では常に上位に位置し、過去数年間で人口が増加、子育て世代の移住者が増加する傾向にある。令和6年4月に「人口戦略会議」では100年後も消滅しない街として注目を集めている。

森林公園駅南区画整理

事業と新駅開設を伴う月輪区画整備事業による住環境の整備に伴い、大きく人口が増加した。

また、子育て世帯の経済的負担軽減を目的として、平成23年度から給食



滑川町での視察

費の無償化と子供医療費の対象年齢の拡大を実施し、子育て支援策を充実させたことで、町民はもとより、町外の方からも評価され、子育て世帯を中心とした人口流入につながったと推察される。

○群馬県北群馬郡吉岡町

人口は約2・2万人で、前橋への通勤率は44%と高く、ベッドタウンとしての性格が高まり、近年は、県内でもトップクラスの人口増加率を記



吉岡町での視察

録し、若い世代の流入が目立っており、自然と都市の利便性が調和した、住みやすさで注目される町である。
橋が開通することにより、前橋市との往来が容易なものになり吉岡町の認知度向上に寄与した。その後も吉岡バイパスなどの幹線道路網が整備され、交通の利便性が向上した。

まとめ

本委員会のテーマである「人口減少に歯止めをかける」について活動するに当たり、町内の現状を把握するとともに先進

地視察を行い、今後の委員会活動に寄与することを目的に実施した。
今回の2町については、地域性の違いはあるが、それぞれ独自性を持った

12月第2回会議

12月24日開催

12月第2回会議では、1世帯あたり2万円の商品券を配布する物価高騰対策を含む一般会計補正予算など、9件の議案を原案どおり可決した。

涌谷町職員の給与に関する条例等の一部改正をする条例

旅費等の見直しは

インバウンドなどで宿泊費などが高騰している。旅費の改正をすべきではないか。また、これまでに宿泊費基準を超えることはなかったのか。

答 令和8年度に向けて改正を予定して

人口増加策に、町の存亡をかけて取り組んでいる。本町も、危機感を持って政治として取り組むべきと感じたところである。

令和7年度涌谷町一般会計補正予算(第7号)

歳入

国庫支出金

その他の交付金活用は

重点支援交付金の推奨事業メニュー

では、水道料金の負担軽減、こども食堂や学校給食費への支援などに充てることができるのでは。

答 残りの事業については、涌谷町らしさを考え、次の補正予算を検討していく。

歳出

商工費

よりきめ細かな支援策を
求める

問

物価高騰対策につ
いて、燃料費負担

が重い高齢者、特に一人
暮らし世帯への支援強化
の考えは。子育て世代へ
の米配布の成果を踏まえ、
世代や生活実態に応じた
寄り添う支援を「福祉の
町涌谷町」として位置付
けるべきではないか。
答 あらゆる可能性を
検討していく。

令和7年度涌谷町訪問 看護ステーション事業 会計補正予算(第2号)

時間外手当増の理由は

問

給与費において、
当初予算から補正

後では7倍にもなってい
る。人員が1人増となり
負担が減るのに、なぜ、
時間外手当が増えるのか。
これまでもきちんと支給
されていたのか。

答

時間外手当は当初
予算時において、

昨年度と同程度計上して
いる。実態として訪問看
護の件数が増えているこ
とから、職員を増やし、
オンコール等や今後の見
込に対応した。

問

補正の時期は今が
適切なのか。また、
今後の収支見込はどのよ
うなのか。

答

時間外手当が当初
予算においては、
少なく見積もってしまった。

事業については、やや
好転している。

令和8年

1月会議

1月8日開催

委員定数の変更

1月会議では、涌谷町
農業委員会の委員及び農
地利用最適化推進委員の
定数を定める条例の一部
を改正する条例を原案ど
おり可決した。

常任委員会の構成が変わりました

総務産業建設常任委員会

所管課 総務課、企画財政課、税務課、
産業振興課、会計課、建設課、
農業委員会事務局

委員長 門田善則
副委員長 黒澤朗
委員 竹中弘光
佐々木みさ子
佐々木敏雄
一條裕太郎

教育厚生常任委員会

所管課 教育総務課、生涯学習課、
町民生活課、上下水道課、健康課、
福祉課、総務管理課、子育て支援課

委員長 杉浦謙一
副委員長 稲葉定一
委員 伊藤雅一
後藤洋一
只野順子
二上光

広報広聴常任委員会

委員長 佐々木敏雄 副委員長 稲葉定
委員 議長を除く全議員

広報分科会

議会だよりの編集・発行を行う。
分科会長 稲葉定
副分科会長 二上光
委員 門田善則
只野順朗
黒澤朗
一條裕太郎

広聴分科会

議会懇談会の実施や、広聴活動を行う。
分科会長 佐々木敏雄
副分科会長 後藤洋一
委員 竹中弘光
杉浦謙一
伊藤雅一
佐々木みさ子

議会運営委員会

議会を円滑、効率的に運営
するために、議会運営、会議
規則、委員会条例などや議長
の諮問に関する事項などの調
査および議案、請願などの審
査を行う。

委員長 後藤洋一
副委員長 佐々木敏雄
委員 門田善則
杉浦謙一
黒澤朗

議会に皆さんの
ご意見をお寄せください。

キラキラ Voice vol.35



団員の練習の様子



佐々木 幸治 さん(黄金区)

Q あなたのことを教えてください。

A 涌谷町消防団本部分団部長兼梯子乗班班長、涌谷町障害者支援協議会理事、涌谷町社会福祉法人共生の森理事を務めています。また、農業を営んでいます。

Q 議会についてどう思いますか。

A 議会にはあまり触れていないのでコメントを控えます。「議会について」とは違いますが、選挙の時に、他候補の悪評を流す方が議員さんの中にいらっしゃるの、少し残念です。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A 個人の意見を言うと矛盾なのですが、自分は乗らないのにバスの本数を増やしてほしい。今、様々な形で涌谷町をよくしようと頑張っている人がたくさんいます。そんな人たちが議論を交わす機会があればよいと思います。「どういう町に」ではなく、「どういう町へ」のほうが大切だと思います。

議会から

繁忙な野菜農家を経営しながら多くの役目をこなし、はしご乗りの先駆者としての活躍に敬意を表します。これからも涌谷町発展のため、ぜひお力を貸してください。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会議は

3月5日から

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127

涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることができます。

当議会では、議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

また、各議員の一般質問の内容も動画配信していますので、左下のQRコードからご覧ください。



編集ろまん

だより

メンバー変更後の第一回目の発行となりました。今年により町民の皆様目に留まるような記事を発行できますように、チームが一丸となって編集してまいります。研修を思っております。研修を重ねてはおりますが、何分才能が不足しております。町民の皆様にご意見やご要望などを頂戴できれば幸いです。

(稲葉 定)

編集 広報広聴常任委員会
広報分科会

- 分科会長 稲葉 定
- 副分科会長 二上 光子
- 委員 門田 善則
- 委員 只野 順
- 委員 黒澤 朗
- 委員 一條 裕太郎